

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座（県内）第3回		
タイトル	東大千葉演習林～紅葉の猪ノ川林道～		
実施日時	平成30年12月4日（火）7：30～17：30		
実施場所	千葉県 鴨川市 東京大学千葉演習林		
受講者	39名（内2名現地参加）	F I C会員他スタッフ	6名

### 活動の内容

千葉駅NTT前からマイクロバス2台に分乗し、東大千葉演習林清澄宿舎の脇から郷台林道をマイクロバスの乗ったまま郷台まで行き、周辺の普段では見学できない貴重な森林等を観察し、房総丘陵の深部を流れる猪ノ川溪谷の急峻な斜面を彩る紅葉の景観を楽しみました。

前日までの天気予報では、朝は雨で現地到着頃には雨は上がりその後は曇りとのことで、講座実施か否かの判断に悩まされましたが、明け方から雨は上がり、清澄到着前には日差しも出てきて予想以上の好天に恵られました。

千葉をほぼ定刻に出発し、途中車内で演習林の生い立ちや見どころや注意事項などを予習して清澄に向かいました。清澄の鴨川市営駐車場で軽くストレッチをして東大より借用したヘルメットを受け取り、再度バスに分乗し郷台林道に入りました。郷台林道は道が狭く急峻な為、ここを車高のあるマイクロバスで走るとかなりスリリングで、車内から軽い悲鳴とも思える驚きの声が聞こえてきました。郷台林道では途中、荒檜沢・川越藩池の沢番所跡などでバスを一時停止させて車中から見学し郷台宿舎まで行きました。

郷台周辺では相ノ沢スギ品種展示林や苗畑やモウソウチク試験地などの解説とセンペルセコイアを始めとする郷台の主な植物の観察をしました。100mを超えるセンペルセコイアや仮道管を持つヤマグルマの説明にも多くの方が興味を持たれたようでした。

郷台を小一時間程見学した後、いよいよ本命の猪ノ川林道林道への出発です。林道を少し下った所の小屋の沢で昼食を取ったあと、林道の見事な紅葉を楽しみながら散策しました。下見の時は紅葉にはもう一息でしたが、カエデを中心とした見事な紅葉・黄葉で受講者の方々も大いに満足されてました。

紅葉を楽しみながら林道の途中で林道沿いの各種試験地などの解説をしていきました。又、メタセコイアとラクウショウ見分け方や洗濯板状の河床の説明や二五穴を利用した草川原用水路などの説明にも多くの受講者の方々が興味を持たれたようでした。

